

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 鹿児島県 】

学校名【 いちき串木野市立市来小学校 】

1 実践テーマ	I ・ III ・ IV ・ V
2 実施対象者 (学年・人数)	いちき串木野市立市来小学校 4年生55名・5年生54名・6年生55名 教職員6名 (計170名)
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (体育, 総合的な学習の時間) ② 行事名 () ③ その他 ()
4 目標 (ねらい)	○ オリンピック・パラリンピックへの理解を深め、オリンピック・パラリンピックへの興味・関心を高める。 ○ パラリピアンによる講演や競技体験を通して、スポーツに対する興味・関心の向上を図るとともに、障害者への理解を深め、オリンピック・パラリンピック競技に関する豊かな知識を育む。
5 取組内容	(1) 「オリンピック・パラリンピックについて学習しよう」 ア 時期：令和2年11月第3週～第4週 イ 対象：4年生から6年生までの児童 ウ 教科：「総合的な学習の時間」 エ 内容 ・ オリンピックについて知る。(オリンピックの価値) ・ パラリンピックについて知る。(パラリンピックの価値) ・ ピクトについて知る。(ピクトクイズ) ・ オリパラ競技について調べる。(「TOKYO2020」のサイト「One Minute, One Sport」の視聴) ・ オリパラ教育の大切さを考える。 ・ ICHIKI フェアプレー宣言について知る。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>オリパラの価値を学ぶ様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ピクトクイズでの交流の様子</p> </div> </div>



「One Minute, One Sport」視聴の様子

(2)「パラリピアン講演会」

ア 日時：令和2年12月17日 9:45～11:30

イ 対象：5年生54名

ウ 教科：体育

エ 内容

- ・パラリピアン講演会
講師 安達 阿記子（競技：ゴールボール）
ロンドンパラリンピック金メダリスト
- ・ゴールボール体験

	ミッション1	ミッション2	ミッション3
活動	ボール送りリレー	ボールスロー &キャッチ	ゴールボール 体験
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・隣の人との距離感をつかむ。 ・アイマスクに慣れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の声の方向に向かってボールを転がす。 ・鈴の音を聞いてボールをキャッチする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・凹凸のあるラインを指で探りながら、ポジションを確認し、ゴールボールのゲームを体験する。



講演会の様子 金メダルの実物 ゴールボール体験の様子

6 主な成果

- ピクトを使った設営やクイズにより、オリンピックやパラリンピックの競技に親しみをもたせ、競技の種類や内容に対する知識・理解を深めさせることができた。
- 授業を通して、児童はパラリンピックのことについてほとんど知識がないことが分かった。そのため、動画視聴やパラアスリートの講演会により、パラリンピックが身近なものとなり、障害者理解につなげることができた。
- オリンピック・パラリンピックを応援したいという態度の育成に繋がった。

【児童の感想から】

- ・オリンピック・パラリンピックに興味をもちました。オリンピック・パラリンピックの応援に参加したいです。
- ・ゴールボール以外のパラリンピック競技も体験してみたいです。
- ・安達選手のようにあきらめないで、将来の夢を叶えたいです。

・障害のある人もない人もみんなでスポーツをして楽しむためにパラスポーツがあると思った。「スポーツは誰もが平等である」というパラリンピックの価値が分かった。



安達選手との記念撮影

7 実践において工夫した点
(事業の特色)

- オリパラコーナーの設置：児童が普段からオリパラ教育を身近なものとして考えられるように、児童玄関前にオリパラコーナーを設置した。
- 「ICHIKI フェアプレー宣言」を各学級に配布したり、体育館に掲示したりして、これからの学習活動とオリパラ教育が関連付けられるようにした。



オリパラコーナー



ICHIKI フェアプレー宣言

8 主な課題等

- 低学年の発達の段階に応じたオリパラ教育についての手立てを充実させる。
- 児童の興味・関心を高めるための環境整備を工夫する。
- 児童の知識・理解を深めるためのカリキュラム・マネジメントについて検討し、開催時期に深い学びができるように工夫する。
- オリンピック・パラリンピックの競技体験を通して、スポーツの楽しさの多様性について学ぶ機会をつくる。

9 来年度以降
の実施予定

- 「マイベストプログラム」として、各学級で目標を立てて一校一運動に取り組む。
- 「I'm POSSIBLE」の教材を活用した授業を実施し、パラリンピックへの知識・理解を深める。
- 講演会や競技体験などをおして、体験的にオリンピック・パラリンピックへの興味・関心を高める。